

静岡

※2023年春実施の全国公立高校入試情報は、2022年12月9日現在によるものです。

1. 日程

[一般選抜]

○学力検査

3/2

○面接等

3/3

○合格発表

3/14

※追検査

3/9

[特別選抜]

海外帰国生徒・外国人生徒・長期欠席生徒・連携型・県外生徒特色選抜

一般選抜と同時に実施。

一般選抜との併願不可。

2. 学力検査

[一般選抜]

国語：50分・50点

数学：50分・50点

英語：50分・50点

理科：50分・50点

社会：50分・50点

<250点満点>

※一部で傾斜配点を実施。→「備考」参照。

○英語聞き取りあり（例年）

○国語課題作文あり（例年）

3. 調査書

[評定の記載方法]

○3年…5段階（絶対評価）

[調査書点の算出方法]

3年重視（3年のみを合計）

3年：9教科×5段階＝45点

<45点満点>

※一部で傾斜配点を実施。→「備考」参照。

4. 合否判定

[調査書と学力検査の比重]

やや調査書重視

[判定方法]

学校裁量枠を実施する高校の場合、まず学校裁量枠の選抜を行い、定員の残りを共通枠で合格者を決定する。

● 共通枠

第 1 段階…調査書点の上位から共通枠定員までの者を対象とし、学力検査点の上位から共通枠定員の 75%程度の者を合格とする。

第 2 段階…第 1 段階による合格者を除いたすべての者のうちから、調査書の学習の記録以外の記載事項、面接の結果により共通枠定員の 10%程度を選抜。

第 3 段階…第 1・第 2 段階による合格者を除いた者のうちから、総合的な審査により共通枠定員の 15%程度を選抜。その際、調査書の「観点別学習状況」を判断の材料に含む。

※第 1 段階では調査書の学習の記録以外の記載事項と、面接の結果等、第 2 段階では調査書の学習の記録と学力検査の結果等により、合格者から除外される場合がある。

※「程度」は前後 10%の範囲。

5. 推薦入学等

推薦選抜等は実施しない。

■ 学校裁量枠

一般選抜の中で、高校独自の選抜方法で一定数の合格者を決定する。

大多数の高校・学科で実施。

定員全員を学校裁量枠の対象とする高校・科と、希望する受検者を対象とする高校・科がある。

[検査内容]

一般選抜の調査書・面接・学力検査・《学校独自選抜資料（作文・実技検査・その他）》

[定員に対する比率]

原則として募集定員のうち若干名～50%以内。

沼津西・清水南・浜松江之島の芸術科、富士市立のスポーツ探究科は 100%。

※学校裁量枠で合格できなかった場合、共通枠の対象者となる。

■ 連携型選抜

松崎、川根、浜松湖北の佐久間分校

連携する中学校の生徒を対象として実施する。

調査書・学力検査・面接により、総合的に審査し選抜する。

■ 海外帰国生徒選抜

実施校・学科が決まっている。

調査書・面接・学力検査により、総合的に審査して選抜。

■外国人生徒選抜

実施校・学科が決まっている。

調査書・日本語基礎力検査(基礎的な学力を測る問題を含む)・面接等により、総合的に審査して選抜。

■県外生徒特色選抜

川根・伊豆総合の土肥分校

[定員に対する比率]

川根…10%程度

土肥分校…15%程度

調査書・面接・学力検査により、総合的に審査して選抜。

6. 備考

県立高校の通学区域は県内全域。

一般選抜で、県共通の方法による共通枠と、各高校が独自に定める学校裁量枠の2つの選抜枠を設けて選抜する。

全員に面接を実施。

同一校同一課程内の学科であれば、原則として併願できる。併願できる学科の数や、第2志望以下の学科の選抜方法等、各校ごとに定められている。

※追検査

やむを得ない事情により学力検査等を受けることができなかった者は、所定の手続きにより追検査を希望できる。ただし、学校裁量枠については、一部の学科を除き、追検査を実施しない。

※再募集

合格者数が募集定員に満たなかった学校・学科(科)で行う。

再募集実施校・学科(科)及び募集定員の発表…3/14

[学力検査の傾斜配点]

○韮山・富士の理数科…数・理×1.5

○下田・沼津東・清水東・榛原・掛川西・磐田南・浜松南・静岡市立の理数科…数・理・英×1.5

○浜松湖南の英語科…英×1.5

○静岡城北のグローバル科…国・社・英×1.3

[調査書の傾斜配点]

○韮山・富士の理数科…数・理×1.5

○下田・清水東・掛川西・磐田南の理数科…数・理・英×1.5

○浜松湖南の英語科…英×1.5

○浜松江之島の芸術科…音楽専攻希望者は音×2, 美術専攻希望者は美×2